

平成 27 年度

公益財団法人鹿児島市水族館公社 決算書

公益財団法人鹿児島市水族館公社

目 次

平成 27 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1	概要	1
2	事業活動の状況	1
3	会議に関する事項	12
4	役員等に関する事項	13
5	登記事項	14
6	常勤の役員及び職員に関する事項	14

平成 27 年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1	貸借対照表	16
2	貸借対照表内訳表	17
3	正味財産増減計算書	18
4	正味財産増減計算書内訳表	19
5	財務諸表に対する注記	21
6	附属明細書	22
7	財産目録	23

平成27年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業報告書

1 概要

平成27年度は、かごしま水族館の指定管理者として、鹿児島市と連携を図りながら、より一層の来館者サービスの向上及び水族館の効率的な管理運営に努めました。

水族の展示等については、肝付町高山漁協の定置網で捕獲した7代目ジンベエザメを8月23日に黒潮大水槽へ搬入したほか、10月18日にハンドウイルカの「マール」が出産し、生まれた仔イルカ「カンナ」は元気に成長をしております。また、展示更新事業として、3階に深海生物コーナー、クラゲコーナーを設置する計画を立て開館20周年に向けた準備を進めました。

11月と12月には、姉妹館盟約を締結した加茂水族館との間で、相互の職員を短期間受け入れ、それぞれの地元でしかできない体験を通し、飼育技術の向上等に努めました。

教育普及活動等については、「生きもの講座」、「ワクワクきびなご塾」、「いおっ子海っ子体験塾」などの更なるプログラムの充実を図ったほか、水族についての講演会を実施し、小学生から高齢者まで幅広い年齢の方々が参加しました。

広報宣伝活動については、九州各県や関西・関東方面への誘致活動ならびに幼稚園・保育園訪問等を引き続き行ったほか、海外（韓国・中国・台湾）セールスや大型観光船が停泊するマリンポートかごしまでの誘致活動などインバウンド対策に積極的に取り組みました。また、平川動物公園を始めとする他施設・団体との連携についても引き続き取り組みました。

平成27年度の入館者数は623,143人、1日平均は1,721人、有料入館者数は487,811人、入館料収納額は503,698,525円となりました。（P8 別表1）

収益事業につきましては、水族館関連商品を販売するアミューズメントショップや自動販売機などの運営を行い、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保することに努めました。

この他、環境管理事業所として、引き続きエネルギーの消費削減等に努めました。

また、かごしま水族館の指定管理者の指定期間が、平成27年度末までであったことから、平成28年度から5年間の新たな指定申請書を8月14日に提出し、鹿児島市から平成28年1月15日に指定されました。

2 事業活動の状況

(1) 公益事業

鹿児島市との協定に基づきかごしま水族館の管理運営等を行うとともに、水族の保護及び水族に関する教育文化の振興に寄与するため自主事業と受託事業を行いました。

1) 自主事業

① 水族館スクールの開催

水族に関する知識の普及や啓発を目的に水族館スクールを実施いたしました。

	実施日	タイトル	参加人数	合計
第1回	6月28日	体験！一日飼育係	32人	105人
第2回	11月20日	大人のための体験飼育係	20人	
第3回	1月30日	体験！一日飼育係	32人	
第4回	2月7日	大人のための体験飼育係	21人	

- ② ニュースレター「さくらじまの海」の発行
 展示生物の紹介やかごしま水族館のイベント・トピックス等を紹介する情報誌「さくらじまの海」を4回発行し、学校・団体等に配布しました。
- ③ かごしま水族館ボランティアの運営
 水族館での展示生物等の解説や障害者の介助を目的とするボランティアの研修を実施し円滑な運営に努めるとともに、平成28年度に向けて第19期生の募集を行いませんでした。

ボランティア（平成10年から）	人 数
第1期生～第18期生（平成28年3月末現在）	119人

- ④ 水族の保護及び保存に関する調査研究活動
 ・錦江湾内で鯨類調査を10回実施しました。

調査日	ミナミハンドウイルカ	調査海域
6月 2日	1群30頭	湾奥・湾央
7月 7日	2群42頭	全域
8月11日	2群40頭	湾奥・湾央
9月 8日	—	湾奥・湾央
10月13日	1群50頭	湾奥・湾央
11月 3日	—	湾奥・湾央
12月 1日	1群40頭	湾奥・湾央
1月12日	2群50頭	全域
2月 3日	1群30頭	湾奥・湾央
3月 2日	2群50頭	湾奥・湾央

2) 受託事業

- ① 敷地、建築物及び附属設備等の維持管理
 建物等の清掃、警備及び維持管理、諸設備の運転管理や保守、鹿児島市の「公共建築物ストックマネジメント事業」に基づき、計画的な建築物等の維持保全に努めました。
- ② 水族の収集、飼育及び展示
 ア. ジンベエザメ展示・イルカの繁殖について
 ・8月4日、肝付町の定置網で捕獲されたジンベエザメを、南さつま市笠沙町の海上生簀へ輸送蓄養後、8月23日に黒潮大水槽に搬入展示しました。
 ・イルカの繁殖等については、8月27日に「テンテン」が出産しましたが、残念ながら死産でした。10月18日に「マール」がメスの個体を出産しました。平成28年1月31日に公募で選ばれた愛称「カンナ」を発表しました。
- イ. イルカ水路展示
 ・イルカの生態について紹介するイベント「青空イルカウォッチング」を毎日3回実施し、夏休み、冬休み等には、小学生を対象としたイルカとの触れ合いを目的としたイベント「イルカ水路でイルカにタッチ」等を実施しました。
 その他、7月にシイラ、3月にマンボウを展示し、イルカ水路がより魅力的なものとなるよう取り組みました。

ウ. サンゴの繁殖研究

- ・ 8月に種子島にしか生息していない固有種「ハナサンゴモドキ」の繁殖に世界で初めて成功し、繁殖個体の展示を行いました。また、得られた知見は、日本動物園水族館協会「第60回水族館技術者研究会」で発表しました。

エ. 加茂水族館との連携

- ・ 姉妹館盟約を締結した加茂水族館の協力により、サケの発眼卵^{ほつがんらん}を展示しました。また、相互に職員を派遣し研修を行いました。

オ. 新規の館内展示水族

新規の館内展示水族につきましては、約80種を展示いたしました。

主な新規展示水族

展示開始日	生物名	展示開始日	生物名
4月25日	アデヤカバイカナマコ	8月12日	ミノエビ
8月6日	ハナサンゴモドキ(繁殖)	9月12日	台湾ンホウキガニ
8月12日	ツノモチダコ	2月2日	トラフザメ

③ 特別企画展等の開催

常設展示とは異なったテーマで様々なアイデアや趣向を凝らし、ポピュラーな話題から専門的なものまで深く掘りさげ情報提供するとともに、リピーターの方々にも楽しんでいただけるように、次の特別企画展等を実施いたしました。

特別企画展

	開催期間	タイトル
第1回	4月25日～6月28日	おどろき！びっくり！ナマコ博覧会
第2回	7月18日～9月27日	大アマゾンのミクロな世界 ～多様なカラシンのなかまたち～
第3回	12月19日～4月5日	闇を照らせ！ 知られざる深海生物の素顔

特別展示

	開催期間	タイトル
1	10月10日 ～11月30日	第30回国民文化祭・かごしま 2015 開催記念特別展示 「アートな海の生きものたち」
2	10月10日 ～6月15日	世界初 鹿児島県肝付町内之浦湾で発見された 「小さなダイオウイカ」
3	12月11日 ～4月17日	鶴岡市立加茂水族館の協力による 「山形県からやってきたサケの卵」

④ 体験型講座の実施

薩摩藩時代の郷中教育の要素を取り入れた「いおっ子海っ子体験塾」を実施したほか、平成14年度から学校の週五日制に合わせて開始した体験型講座「ワクワクきびなご塾」や、学校および団体向けのプログラム「いおワールド生きもの講座」、職場体験や学芸員等実習の受け入れを行いました。

	タイトル	実施回数	参加人数
1	いおっ子海っ子体験塾	15回	293人
2	ワクワクきびなご塾	12回	443人
3	いおワールド生きもの講座	194回	10,707人
4	職場体験学習	21回	53人
5	学芸員等実習	8回	9人
合 計		250回	11,505人

⑤ 各種イベントの実施

定例の館内イベントのほか、特別イベントを実施いたしました。

	イベント名 (回数等)	内 容
1	夜の水族館 (28回)	ゴールデンウィークや夏休みの土、日曜日とお盆期間、シルバーウィーク、クリスマスに開館時間を21時まで延長しました。
2	水族館に泊まろう (12回)	ジンベエザメやイルカを眺めながら水族館に泊まるイベントを行いました。館内のガイドツアーやバックヤード見学なども行いました。
3	いおの日 (12回)	毎月10日に手作り魚釣りや工作教室、絵本の読み聞かせなどのイベントやスタンプラリーを開催しました。
4	シイラにエサやり体験 (5回)	期間限定でイルカ水路に展示していたシイラにエサを与えるイベントを行いました。
5	紙粘土で海の生きものを作ろう (4回)	ジンベエザメやイルカ、ゴマフアザラシなどをカラー紙粘土で作るイベントを行いました。
6	星砂をさがそう (5回)	砂の中から星砂を見つけるイベントを行いました。星砂は小ビンに詰めてプレゼントしました。
7	館長と歩こう！夜の水族館探検	館長が夜の水族館を案内するイベントを行いました。
8	飼育員によるバックヤードツアー (24回)	春休みや夏休みなどに飼育員による通常よりもさらに詳しく案内するバックヤードツアーを行いました。
9	ミニコンサート (6回)	黒潮大水槽の前でハンドベルやヴァイオリン、琴などのミニコンサートを開催しました。
10	フォトコンテスト	水族館の生きものを対象にしたフォトコンテストを実施しました。 応募数 350作品 優秀作品 45作品 展示期間 10月31日～1月31日

11	イルミネーション展示 (94日間)	職員手作りのジンベエザメ等のオリジナルイルミネーションの展示を館外の芝生広場で行いました。
12	アクアリウムディナー (3回)	黒潮大水槽の前で本格フレンチディナーを楽しんでいただきました。音楽の生演奏や飼育員による生きもの解説も行いました。
13	黒潮大水槽バックヤード一般公開 (19回)	ふだん見ることができない黒潮大水槽の裏側を公開しました。
14	黒潮大水槽の魚にエサをあげよう (2回)	黒潮大水槽のカツオやマグロにエサを与えるイベントを行いました。
15	ジンベエザメの食事をまぢかで見よう (7回)	黒潮大水槽のバックヤードからジンベエザメの食事の様子を飼育員の解説付きで紹介するイベントを行いました。
16	有人潜水艇「はくよう」の中に入っちゃおう! (9回)	「はくよう」の中に入って、潜水艇内の各種計器や装置を体験してもらいました。
17	アザラシとふれあい体験 (2回)	ゴマフアザラシにエサを与えたり、触れ合うイベントを行いました。
18	みんなでイルカにタッチ (11回)	希望者全員がイルカにタッチできるイベントを行いました。
19	水路でイルカにタッチ (8回)	水路のイルカに触れ合うイベントを行いました。
20	水路でイルカに合図を出してみよう (11回)	水路のイルカに合図を出したり、エサを与えたり触れ合うイベントを行いました。
21	イルカの誕生日イベント (2回)	水族館で生まれたハンドウイルカの「メイ」と「ラスキー」の誕生日を祝って、「イルカにタッチ」イベント等を行いました。
22	特別企画展等関連イベント (5回)	特別企画展等に合わせてイベントを実施しました。 「ナマコ先生のナマコ実験ショー」、「透明粘土でナマコをつくろう!」、「ピラルクーに餌やり体験!」 「今日は1日 深海 Day!」 「海カフェ アートな海の生きものを語ろう」
23	「夜の水族館で楽しむ真夏のワインパーティ〜鹿児島食材とワインの饗宴〜」	黒潮大水槽の前で、水族に関する解説等を聞きながら、鹿児島の食材を使った料理とワイン等を楽しむ立食パーティを行いました。
24	灯で夜を楽しむ水族館 (3日間)	夜の水族館で来館者が作った水の生きものを描いた行灯を館内に飾りました。
25	すてきな海のキャンドルを作ろう! (2回)	カップに星砂や貝がらを入れたジェルキャンドル作りを行いました。
26	卒園・入学おめでとう! イルカにタッチ	新たに小学校に入学する児童を対象にしたイルカタッチイベントを行いました。
27	ユウユウの公開トレーニング	ジンベエザメの健康管理のための取り組みをまぢかで紹介しました。
28	錦江湾お魚教室 さかなクンスペシャルトークショー	潮風フェスタと連携し、さかなクンを招いてイルカスタンドで講演会を開催しました。

※ 網かけは平成27年度初実施のイベント

⑥ 講演会等の開催

	開催日	講演内容
1	5月23日	「食べられるプランクトン、凄いプランクトン」 講師：大塚 攻 氏 (広島大学大学院附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター教授)
2	6月27日	第1部「豊かな海 錦江湾」 第2部「地魚を食べて海を守ろう」 講師：大富 潤 氏 (鹿児島大学水産学部教授)
3	12月 6日	第1部「サメの体の特徴は?サメを解剖してみよう」 第2部「サメの驚異の能力~その多様性に迫る」 講師：仲谷 一宏 氏 (北海道大学名誉教授)
4	1月24日	「深海に浮く宇宙人たち」 講師：ドゥーグル・リンズィー 氏 (海洋研究開発機構技術研究副主幹)

⑦ 広報宣伝事業

来館者増に向けた広報宣伝活動として、関東・関西方面や海外にも誘致活動を行ったほか、幼稚園・保育園訪問、テレビCMの放映などや、報道機関への情報提供に努めました。

ア. テレビCM等の制作・放送

夏休みや春休みの観客誘致のために、15秒のテレビCMを制作し、九州各県に合計1,351本放映しました。

時期	放送期間	本数	合計
夏休み	平成27年 7月11日～ 8月23日	867本	1,351本
冬休み	平成27年12月11日～12月31日	57本	
春休み	平成28年 3月10日～ 3月31日	427本	

その他、鹿児島県内向けに、毎週水曜日にラジオCMを放送したほか、毎月1回番組出演して、その時節の水族館の見どころなどを広報いたしました。

イ. 報道機関への情報提供

新たな展示水族等に関する「いおワールド情報」を報道機関へ提供し、新聞記事として掲載されたほか、テレビ等で報道されました。

ウ. 旅行代理店への誘致活動等

入館者増を図るため、旅行代理店や学校並びに、幼稚園・保育園等を訪問し、誘致活動を行いました。

地域	訪問先	訪問件数	合計
九州地区	旅行代理店	82件	1,306件
	学 校	292件	
関東・関西・中国地区等	旅行代理店	74件	
	学 校	102件	
県内・都城及び熊本県南部	幼稚園・保育園	756件	

・海外誘致セールス

実施日	訪問先
7月 7日～12日	中国（香港・廣州）
9月13日～17日	台湾
11月18日～20日	韓国（ソウル）

・大型クルーズ船セールス

実施場所	実施回数
マリポートかごしま	11回

・契約ホテル・旅館等訪問（「かごしま水族館割引券」等の案内・配布）

訪問先	訪問件数
鹿児島市、霧島市、指宿市、薩摩川内市	108件

エ. その他

- ゴールデンウィークや夏休みなどのイベント情報を載せた水族館イベントチラシを作成し、市内・県内及び熊本・宮崎県の小中学校や幼稚園・保育園に配布しました。
- 電照広告看板をJR鹿児島中央駅やJR博多駅に引き続き設置したほか、肥薩おれんじ鉄道とは、共同イベントやラッピング電車への広告を実施いたしました。また、高速道路利用者に対する広報も引き続き実施しました。
- 年間パスポートについては、イベントチラシ等により周知を図りました。
- 鹿児島中央駅や福岡市の博多駅前での鹿児島観光物産展など県内外で行われたイベントでチラシ等を配布しました。

⑧ 職員等の採用

ア. 嘱託員

採用日	職種	採用人数
平成27年4月1日	券売・案内・アミューズメント ショップでの販売・展示解説	9人

(2) 収益事業

入館者の利便を図るとともに、自主事業や広報宣伝事業の財源を確保するためにアミューズメントショップの運営などの付帯事業を実施しました。

① アミューズメントショップ等

水族館に関連する菓子やぬいぐるみ、文具雑貨等の商品を販売するアミューズメントショップ2カ所（97.7㎡）の運営を行いました。

また、仙巖園との共通チケットの販売を行いました。

平成27年度売上額

アミューズメントショップ	193,985,207円（P10 別表2）
共通チケット	5,161,000円
合計	199,146,207円

② 自動販売機

入館者へのサービスに供するため自動販売機10台（展望ホール5台、イルカ館2台、屋外3台）の運営を行いました。

平成27年度販売手数料	8,599,814円（P10 別表2）
-------------	---------------------

(別表1)

入館者の種別と入館料収納額

種 別		入館者数(人)	構成比(%)	入館料収納額(円)	
有 料 入 館 者	個人	大 人	217,661	34.9%	325,645,200
		小 人	45,585	7.3%	32,840,500
		幼 児	23,861	3.8%	8,324,960
		敬 老	2,446	0.4%	1,834,500
		観 光	35,648	5.7%	39,714,240
		小 計	(325,201)	(52.1%)	(408,359,400)
	団体	大 人	20,957	3.4%	25,148,400
		小 人	25,673	4.1%	15,403,700
		幼 児	4,187	0.7%	1,172,360
		小 計	(50,817)	(8.2%)	(41,724,460)
	市内 学校 教育 等	大 人	107	0.1%	80,250
		小 人	5,371	0.9%	2,014,125
		幼 児	6,298	1.0%	1,102,150
		小 計	(11,776)	(2.0%)	(3,196,525)
	年間 パス ポート	大 人	15,314	2.5%	42,341,100
		小 人	4,018	0.6%	5,505,450
		幼 児	4,002	0.6%	2,571,590
		小 計	(23,334)	(3.7%)	(50,418,140)
	年間 2回 目以 降 パス ポート	大 人	51,877	8.3%	/
		小 人	11,046	1.8%	
幼 児		13,760	2.2%		
小 計		(76,683)	(12.3%)		
有 料 合 計		487,811	78.3%	503,698,525	
無 料 入 館 者	個人	障害者手帳等	20,526	3.3%	/
		3歳以下等	95,924	15.4%	
		視察その他	6,456	1.0%	
		小 計	(122,906)	(19.7%)	
	団体	生徒等	3,505	0.6%	
		引 率	8,921	1.4%	
		小 計	(12,426)	(2.0%)	
無 料 合 計		135,332	21.7%		
合 計		623,143	100.0%		
平成26年度		615,930		511,468,960	
平成26年度比		7,213	101.2%	△ 7,770,435	

入館者の状況

開 館 日 数	362 日	休館日	12月7日から12月10日まで
1 日 平 均 入 館 者	1,721 人		
1 日 最 多 入 館 者	12,562 人		5月3日(日)
1 日 最 小 入 館 者	192 人		1月25日(月)

月別入館者の状況

(単位：人，%)

月	開館 日数	有 料						無料計	月計
		大人	小人	幼児	敬老	年間パス (2回目以降)	小計		
4月	30	18,324	5,327	2,360	193	5,756	31,960	8,321	40,281
5月	31	35,426	15,284	2,568	283	7,752	61,313	19,529	80,842
6月	30	15,865	3,644	2,714	122	4,810	27,155	8,637	35,792
7月	31	25,182	5,967	3,378	196	7,229	41,952	11,843	53,795
8月	31	50,239	16,968	6,711	550	10,838	85,306	19,144	104,450
9月	30	29,647	9,027	4,036	89	8,059	50,858	19,088	69,946
10月	31	17,097	8,535	2,337	202	4,839	33,010	8,321	41,331
11月	30	18,046	6,796	2,240	188	5,577	32,847	9,913	42,760
12月	27	17,579	3,531	2,137	124	5,422	28,793	6,795	35,588
1月	31	17,275	3,316	2,964	167	5,903	29,625	7,495	37,120
2月	29	15,081	1,799	2,979	95	4,743	24,697	7,065	31,762
3月	31	24,310	5,795	4,198	237	5,755	40,295	9,181	49,476
計	362	284,071	85,989	38,622	2,446	76,683	487,811	135,332	623,143
構成比		45.6	13.8	6.2	0.4	12.3	(78.3)	21.7	100.0

(別表2)

アミューズメントショップ・自動販売機の状況

(1) アミューズメントショップの購買者数・利用率・売上額・客単価

入館者数 (A)	購買者数 (B)	利用率 (B/A)	売上額 (C)	客単価	
				(C/B)	(C/A)
623,143	175,748	28.2%	193,985,207	1,104	311

(2) 自動販売機の販売数・利用率・手数料額

入館者数 (A)	購買個数 (B)	利用率 (B/A)	手数料額 (C)
623,143	165,916	26.6%	8,599,814

(3) 月別状況

	アミューズメントショップ		自動販売機	
	売上額(円)	構成比	手数料額(円)	構成比
4月	11,105,799	5.7%	622,642	7.2%
5月	26,390,525	13.6%	854,096	9.9%
6月	9,899,859	5.1%	555,224	6.5%
7月	14,570,703	7.5%	780,576	9.1%
8月	35,428,896	18.3%	1,718,767	20.0%
9月	21,341,174	11.0%	982,794	11.4%
10月	15,273,263	7.9%	499,112	5.8%
11月	14,736,091	7.6%	542,913	6.3%
12月	11,260,859	5.8%	504,396	5.9%
1月	10,414,083	5.4%	520,851	6.1%
2月	7,819,093	4.0%	413,638	4.8%
3月	15,744,862	8.1%	604,805	7.0%
計	193,985,207	100.0%	8,599,814	100.0%
平成26年度比	6,902,469	103.7%	△ 109,529	98.7%

来館者アンケート調査結果（概要）

(1) 来館者の地域別状況

(単位：%)

地 域		調 査 日	
		8月1日(土) ～8月3日(月)	1月30日(土) ～2月1日(月)
市 内		28.5 (41.0)	49.5 (41.4)
県 内		18.8 (16.6)	23.0 (25.0)
県 外	福 岡	7.6	2.4
	佐 賀	1.9	0.9
	長 崎	2.3	0.7
	熊 本	15.1	9.9
	大 分	1.7	0.4
	宮 崎	7.8	5.8
	中国地方	1.4	1.5
	関西地方	2.9	0.7
	関東地方	6.1	1.9
	そ の 他	4.9	2.7
小 計		51.7 (41.3)	26.9 (33.1)
海 外		0.6 (0.9)	0.4 (0.4)
無 回 答		0.4 (0.2)	0.2 (0.1)
合 計		100.0	100.0

※（ ）内は、平成26年度の結果

(2) 情報手段

(単位：%)

種 別	調 査 日	
	8月1日(土) ～8月3日(月)	1月30日(土) ～2月1日(月)
テレビCM	21.4	16.5
テレビ	6.4	8.7
新聞	2.3	2.4
友人・知人	16.8	17.8
ポスター	3.5	4.2
ちらし	11.9	8.6
雑誌	8.5	5.3
ラジオ	0.8	0.6
旅行業者	1.5	0.3
ホームページ	9.2	11.3
フェイスブック	0.2	0.3
その他	12.3	15.5
無回答	5.2	8.5
合 計	100.0	100.0

※ サンプル数は、

平成27年8月調査 2,081人

平成28年1月調査 535人

3 会議に関する事項

(1) 理事会

平成27年度の理事会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	平成27年6月5日	平成26年度（公財）鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第2回	平成28年3月16日	公益財団法人鹿児島市水族館公社職員給与規程一部改正の件 平成27年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算（第1号） 平成28年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 平成28年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

(2) 評議員会

平成27年度の評議員会の開催状況及び議決事項は次のとおりです。

区分	開催日	議決事項
第1回	平成27年6月22日	平成26年度（公財）鹿児島市水族館公社事業報告及び収支決算
第2回	平成27年9月1日	公益財団法人鹿児島市水族館公社評議員選任の件
第3回	平成28年3月22日	公益財団法人鹿児島市水族館公社定款の一部変更の件 平成27年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支補正予算（第1号） 平成28年度公益財団法人鹿児島市水族館公社事業計画 平成28年度公益財団法人鹿児島市水族館公社収支予算

4 役員等に関する事項

(1) 平成28年3月31日現在の役員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日
理事長	森 博 幸	平成16年12月23日
副理事長	阪口 進一	平成25年4月1日
常務理事	畠 幸 市	平成26年6月1日
理 事	岩元 恭一	平成7年10月1日
理 事	川畑 孝則	平成26年4月1日
理 事	逆瀬川 尚文	平成21年2月1日
理 事	四宮 明彦	平成7年10月1日
理 事	寺 菌 玲子	平成24年4月1日
理 事	中村 耕治	平成20年11月5日
理 事	吉田 ミツ江	平成11年4月1日
理 事	石 踊 政昭	平成17年8月1日
理 事	森重 彰彦	平成26年4月1日
監 事	高橋 雷太	平成17年5月1日
監 事	穂園 星子	平成26年4月1日

(2) 平成28年3月31日現在の評議員は次のとおりです。

役職名	氏名	就任年月日
会 長	杉木 和子	平成24年4月1日
評 議 員	岩坪 恵美子	平成24年4月1日
評 議 員	大戸 剛志	平成26年4月1日
評 議 員	鮫島 準一	平成27年9月1日
評 議 員	白橋 大信	平成24年11月1日
評 議 員	津曲 ゆかり	平成27年9月1日
評 議 員	徳永 文男	平成24年4月1日
評 議 員	三宅 正敏	平成26年10月1日
評 議 員	本村 浩之	平成24年4月1日
評 議 員	山本 智子	平成24年4月1日
評 議 員	塚田 称也	平成24年6月10日
評 議 員	藤田 芳昭	平成26年4月1日

5 登記事項

平成27年度の登記事項は次のとおりです。

登記年月日	申請先	事項	登記原因年月日
平成27年 9月11日	鹿児島地方法務局	評議員の変更	平成27年 9月 1日

6 常勤の役員及び職員に関する事項

平成28年3月31日現在の人員は次のとおりです。

常務理事	事務局長 館長	公社職員	嘱託員
1人	2人	29人	29人
	事務局長 1人	総務課 10人 課長 1人 管理係 係長（総務課長事務取扱） 事務職員 3人 施設係 係長 1人 技術職員 2人 企画営業係 係長 1人 事務職員 2人	アクアレディ 券売・案内・展示解説 15人 商品販売・管理 9人 設備管理保全 1人 広報宣伝 1人
	館長 1人	展示課 19人 課長 1人 主幹 1人 魚類展示係 係長（展示課長事務取扱） 主任 3人 技術職員 5人 海獣展示係 係長 1人 主任 2人 技術職員 3人 学習交流係 係長 1人 技術職員 2人	飼育 2人 事務 1人

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則（平成十九年四月二十日法務省令第二十八号）第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、平成27年度事業報告の附属明細書については作成していません。

平成27年度公益財団法人鹿児島市水族館公社決算報告書

1 貸借対照表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	158,067,891	125,575,109	32,492,782
未収金	1,582,107	1,336,749	245,358
商品	268,298	265,551	2,747
貯蔵品	1,094,299	904,855	189,444
流動資産合計	161,012,595	128,082,264	32,930,331
2.固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	304,013	304,013	0
投資有価証券	124,787,600	188,436,000	△ 63,648,400
基本財産合計	125,091,613	188,740,013	△ 63,648,400
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	81,742,805	112,378,408	△ 30,635,603
減価償却引当資産	14,526,471	13,386,231	1,140,240
特定資産合計	96,269,276	125,764,639	△ 29,495,363
(3) その他固定資産			
車両運搬具	1	6,594	△ 6,593
什器備品	4,261,934	5,114,781	△ 852,847
電話加入権	226,408	226,408	0
預託金	8,820	68,820	△ 60,000
投資有価証券	62,393,800	94,218,000	△ 31,824,200
その他固定資産合計	66,890,963	99,634,603	△ 32,743,640
固定資産合計	288,251,852	414,139,255	△ 125,887,403
資産合計	449,264,447	542,221,519	△ 92,957,072
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	129,123,580	104,677,509	24,446,071
預り金	4,508,437	3,185,757	1,322,680
流動負債合計	133,632,017	107,863,266	25,768,751
2.固定負債			
退職給付引当金	119,196,998	118,008,401	1,188,597
固定負債合計	119,196,998	118,008,401	1,188,597
負債合計	252,829,015	225,871,667	26,957,348
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	125,091,613	188,740,013	△ 63,648,400
指定正味財産合計	125,091,613	188,740,013	△ 63,648,400
2.一般正味財産			
剰余金	71,343,819	127,609,839	△ 56,266,020
一般正味財産合計	71,343,819	127,609,839	△ 56,266,020
正味財産合計	196,435,432	316,349,852	△ 119,914,420
負債及び正味財産合計	449,264,447	542,221,519	△ 92,957,072

2 貸借対照表内訳表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金	10,291,640	3,989,763	0	0	14,281,403
普通預金	131,321,978	12,464,510	0	0	143,786,488
未収金	357,474	2,137,545	0	△ 912,912	1,582,107
商品	0	268,298	0	0	268,298
貯蔵品	0	1,094,299	0	0	1,094,299
流動資産合計	141,971,092	19,954,415	0	△ 912,912	161,012,595
2.固定資産					
(1)基本財産					
普通預金	304,013	0	0	0	304,013
投資有価証券	124,787,600	0	0	0	124,787,600
基本財産合計	125,091,613	0	0	0	125,091,613
(2)特定資産					
退職給付引当普通預金	18,233,505	1,115,500	0	0	19,349,005
退職給付引当有価証券	62,393,800	0	0	0	62,393,800
減価償却引当普通預金	0	14,526,471	0	0	14,526,471
特定資産合計	80,627,305	15,641,971	0	0	96,269,276
(3)その他固定資産					
車両運搬具	0	1	0	0	1
什器備品	0	4,261,934	0	0	4,261,934
電話加入権	0	76,440	149,968	0	226,408
預託金	0	8,820	0	0	8,820
投資有価証券	0	62,393,800	0	0	62,393,800
その他固定資産合計	0	66,740,995	149,968	0	66,890,963
固定資産合計	205,718,918	82,382,966	149,968	0	288,251,852
資産合計	347,690,010	102,337,381	149,968	△ 912,912	449,264,447
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	113,669,132	16,367,360	0	△ 912,912	129,123,580
預り金	4,508,437	0	0	0	4,508,437
流動負債合計	118,177,569	16,367,360	0	△ 912,912	133,632,017
2.固定負債					
退職給付引当金	118,081,498	1,115,500	0	0	119,196,998
固定負債合計	118,081,498	1,115,500	0	0	119,196,998
負債合計	236,259,067	17,482,860	0	△ 912,912	252,829,015
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	125,091,613	0	0	0	125,091,613
指定正味財産合計	125,091,613	0	0	0	125,091,613
2.一般正味財産					
剰余金	△ 13,660,670	84,854,521	149,968	0	71,343,819
一般正味財産合計	△ 13,660,670	84,854,521	149,968	0	71,343,819
正味財産合計	111,430,943	84,854,521	149,968	0	196,435,432
負債及び正味財産合計	347,690,010	102,337,381	149,968	△ 912,912	449,264,447

3 正味財産増減計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	3,280,000	2,231,165	1,048,835
管理受託収入	745,175,791	737,400,000	7,775,791
事業収益	207,746,021	200,253,491	7,492,530
雑収益	5,241,127	20,015,298	△ 14,774,171
経常収益計	961,442,939	959,899,954	1,542,985
(2) 経常費用			
自主事業費	3,112,250	6,023,035	△ 2,910,785
受託事業費	728,161,191	744,248,899	△ 16,087,708
管理費	39,619,996	40,389,648	△ 769,652
収益事業費	183,167,122	179,551,421	3,615,701
経常費用計	954,060,559	970,213,003	△ 16,152,444
評価損益等調整前当期 経常増減額	7,382,380	△ 10,313,049	17,695,429
特定資産評価損	31,824,200	5,629,993	26,194,207
投資有価証券評価損	31,824,200	5,756,500	26,067,700
当期経常増減額	△ 56,266,020	△ 21,699,542	△ 34,566,478
2.経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 56,266,020	△ 21,699,542	△ 34,566,478
一般正味財産期首残高	127,609,839	149,309,381	△ 21,699,542
一般正味財産期末残高	71,343,819	127,609,839	△ 56,266,020
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損	63,648,400	11,259,987	52,388,413
当期指定正味財産増減額	△ 63,648,400	△ 11,259,987	△ 52,388,413
指定正味財産期首残高	188,740,013	200,000,000	△ 11,259,987
指定正味財産期末残高	125,091,613	188,740,013	△ 63,648,400
III 正味財産期末残高	196,435,432	316,349,852	△ 119,914,420

4 正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
I 一般正味財産増減の部						
1.経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用収益	3,280,000	0	3,280,000	0	0	3,280,000
基本財産受取利息	3,280,000	0	3,280,000	0	0	3,280,000
受取補助金等	0	713,491,882	713,491,882	0	31,683,909	745,175,791
管理受託収入	0	713,491,882	713,491,882	0	31,683,909	745,175,791
事業収益	0	0	0	207,746,021	0	207,746,021
館内販売事業収入	0	0	0	199,146,207	0	199,146,207
自動販売機収入	0	0	0	8,599,814	0	8,599,814
雑収益	86,746	3,045,115	3,131,861	2,109,266	0	5,241,127
受取利息	0	1,640,000	1,640,000	1,640,000	0	3,280,000
雑収入	86,746	1,405,115	1,491,861	469,266	0	1,961,127
経常収益計	3,366,746	716,536,997	719,903,743	209,855,287	31,683,909	961,442,939
(2) 経常費用						
事業費	3,112,250	728,161,191	731,273,441	183,167,122	0	914,440,563
役員報酬	0	2,417,956	2,417,956	502,848		2,920,804
報酬	0	47,407,504	47,407,504	20,487,089		67,894,593
給料	0	79,613,400	79,613,400	4,706,400		84,319,800
職員手当	0	63,828,121	63,828,121	4,181,372		68,009,493
臨時職員賃金	0	28,941,759	28,941,759	2,999,477		31,941,236
退職給付費用	0	7,973,000	7,973,000	160,000		8,133,000
福利厚生費	0	34,939,479	34,939,479	4,841,622		39,781,101
会議費	582,754	325,732	908,486	20,250		928,736
旅費交通費	368,160	6,679,030	7,047,190	0		7,047,190
通信運搬費	389,622	2,163,080	2,552,702	179,450		2,732,152
減価償却費	0	0	0	1,140,240		1,140,240
消耗什器備品費	20,412	2,736,981	2,757,393	0		2,757,393
消耗品費	42,800	28,332,022	28,374,822	3,845,924		32,220,746
水族購入費	0	5,747,187	5,747,187	0		5,747,187
飼料購入費	0	17,481,234	17,481,234	0		17,481,234
修繕費	0	30,705,504	30,705,504	0		30,705,504
印刷製本費	420,336	5,037,921	5,458,257	0		5,458,257
燃料費	0	25,740,369	25,740,369	0		25,740,369
光熱水料費	0	103,097,303	103,097,303	840,246		103,937,549
賃借料	1,264,940	8,179,831	9,444,771	2,114,436		11,559,207
保険料	8,517	368,782	377,299	40,660		417,959
諸謝金	0	175,000	175,000	100,000		275,000
手数料	8,190	6,801,260	6,809,450	63,562		6,873,012
広報宣伝費	0	30,735,559	30,735,559	0		30,735,559
租税公課	0	19,210,263	19,210,263	7,339,937		26,550,200
負担金	0	1,062,450	1,062,450	0		1,062,450
委託費	6,519	168,460,464	168,466,983	282,960		168,749,943
館内販売仕入費	0	0	0	129,320,649		129,320,649

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計			収益事業会計	法人会計	合 計
	自主事業	受託事業	小計			
管理費	0	0	0	0	39,619,996	39,619,996
役員報酬				0	491,996	491,996
報酬				0	197,904	197,904
給料				0	13,145,100	13,145,100
職員手当				0	11,432,658	11,432,658
臨時職員賃金				0	2,067,087	2,067,087
福利厚生費				0	4,306,694	4,306,694
会議費				0	543,142	543,142
交際費				0	10,000	10,000
旅費交通費				0	213,290	213,290
通信運搬費				0	1,061,858	1,061,858
消耗什器備品費				0	36,720	36,720
消耗品費				0	514,433	514,433
修繕費				0	20,848	20,848
印刷製本費				0	1,560,124	1,560,124
賃借料				0	490,600	490,600
保険料				0	69,630	69,630
手数料				0	43,696	43,696
租税公課				0	2,623,400	2,623,400
負担金				0	634,000	634,000
委託費				0	156,816	156,816
経常費用計	3,112,250	728,161,191	731,273,441	183,167,122	39,619,996	954,060,559
評価損益等調整前当期						
経常増減額	254,496	△ 11,624,194	△ 11,369,698	26,688,165	△ 7,936,087	7,382,380
特定資産評価損	0	31,824,200	31,824,200	0	0	31,824,200
投資有価証券評価損	0	0	0	31,824,200	0	31,824,200
当期経常増減額	254,496	△ 43,448,394	△ 43,193,898	△ 5,136,035	△ 7,936,087	△ 56,266,020
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	12,063,913	12,063,913	△ 20,000,000	7,936,087	0
当期一般正味財産増減額	254,496	△ 31,384,481	△ 31,129,985	△ 25,136,035	0	△ 56,266,020
一般正味財産期首残高	17,126,233	343,082	17,469,315	109,990,556	149,968	127,609,839
一般正味財産期末残高	17,380,729	△ 31,041,399	△ 13,660,670	84,854,521	149,968	71,343,819
II 指定正味財産増減の部						
基本財産評価損	63,648,400	0	63,648,400	0	0	63,648,400
当期指定正味財産増減額	△ 63,648,400	0	△ 63,648,400	0	0	△ 63,648,400
指定正味財産期首残高	188,740,013	0	188,740,013	0	0	188,740,013
指定正味財産期末残高	125,091,613	0	125,091,613	0	0	125,091,613
III 正味財産期末残高	142,472,342	△ 31,041,399	111,430,943	84,854,521	149,968	196,435,432

5 財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品および貯蔵品は、移動平均法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施している。
- (3) 有価証券の評価基準及び評価方法
その他の有価証券…時価によっている。
- (4) 退職給付引当金の計上基準
期末退職給与の要支給額を限度として計上している。
- (5) 消費税の会計処理
消費税の会計処理は税込み方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	304,013	0	0	304,013
投資有価証券	188,436,000	0	63,648,400	124,787,600
小計	188,740,013	0	63,648,400	125,091,613
特定資産				
退職給付引当普通預金	18,160,408	1,188,597	0	19,349,005
退職給付引当有価証券	94,218,000	0	31,824,200	62,393,800
減価償却引当普通預金	13,386,231	1,140,240	0	14,526,471
小計	125,764,639	2,328,837	31,824,200	96,269,276
合計	314,504,652	2,328,837	95,472,600	221,360,889

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
普通預金	304,013	304,013	0	0
投資有価証券	124,787,600	124,787,600	0	0
小計	125,091,613	125,091,613	0	0
特定資産				
退職給付引当普通預金	19,349,005	0	0	19,349,005
退職給付引当有価証券	62,393,800	0	0	62,393,800
減価償却引当普通預金	14,526,471	0	14,526,471	0
小計	96,269,276	0	14,526,471	81,742,805
合計	221,360,889	125,091,613	14,526,471	81,742,805

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	当期償却額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品				
什器	10,334,100	1,017,586	6,605,457	3,728,643
備品	7,794,906	116,061	7,261,615	533,291
車両運搬具	659,400	6,593	659,399	1
合計	18,788,406	1,140,240	14,526,471	4,261,935

6 附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2「基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」に記載しているため、省略します。

2 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	118,008,401	1,188,597	0	0	119,196,998

7 財産目録

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	14,281,403	
	普通預金	南日本銀行本店	運転資金として	143,786,488	
	未収金	自動販売機2社	売上手数料と光熱水費	640,255	
		携帯電話4社	館内設置アンテナ光熱費	169,348	
		コンパス九州	館内レストラン光熱水費	73,574	
		信販と運輸3社	商品の売掛金	698,930	
商品	売店	書籍、文房具など	268,298		
貯蔵品	売店	包装用品など	1,094,299		
流動資産合計				161,012,595	
(固定資産)	基本財産	普通預金	南日本銀行本店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	304,013
		投資有価証券	旭化成株式	同上	124,787,600
特定資産	退職給付引当資産	普通預金	南日本銀行本店	公社員29名に対する退職金の支払いに備えたもの	19,349,005
		投資有価証券	旭化成株式	同上	62,393,800
その他 固定資産	減価償却引当資産	普通預金	南日本銀行本店	収益事業の用に供している什器備品の償却引当資産	14,526,471
	車両運搬具	軽貨物自動車1台		収益事業の用に供している	1
	什器備品	大型金庫1台		収益事業の用に供している	44,963
		POSシステム		同上	1
		店内構造物		同上	3,683,680
		I P トランシーバ		同上	299,290
		両替機		同上	234,000
	電話加入権	2回線分		管理部門の用に供している	149,968
		1回線分		収益事業の用に供している	76,440
	預託金	1件分		自動車1台リサイクル料金(収益事業)	8,820
投資有価証券	旭化成株式		資産運用	62,393,800	
固定資産合計				288,251,852	
資産合計				449,264,447	

(単位：円)

貸借対照表科目		債務の相手等	債務の内容等	金額	
(流動負債)	未払金	九州電力	光熱費 3 月分	5,200,139	
		日本ガス	ガス料金 3 月分	2,850,485	
		鹿児島市水道局	上水道および下水道料金 2 - 3 月分	1,749,944	
		日米礦油	発電用燃料代 3 月分	1,496,880	
		増田石油	発電用燃料代 2 月分	1,458,000	
		明電エンジニアリング	自家発電設備保全管理業務	9,450,000	
		稲盛機工店	飼育ポンプ修繕	4,255,200	
		鶴田機工	空調設備修繕	2,203,200	
		パナソニックシステムネットワークス	大型映像設備保守点検業務	1,296,000	
		パナソニックESエンジニアリング	中央監視設備保守点検業務	1,258,200	
		三菱電機ビルテクノサービス	エレベータ、エスカレーター保守点検	1,046,700	
		近宣	広告費	2,322,000	
		鹿児島市交通局	広告費	1,471,680	
		NEXCO西日本	広告費	1,263,600	
		濱島印刷	イベントチラシ	1,596,650	
		テレビ宮崎商事	テレビCM	1,134,000	
		芙蓉商事	設備管理および清掃代 3 月分	6,253,200	
		九州総合警備保障	警備 3 月分	1,129,620	
		山形屋	アクアレディ夏服	1,028,527	
		AQUA	仕入 3 月分	1,204,390	
		コピーオン	仕入 3 月分	1,164,538	
		他仕入 27 社	仕入 3 月分	8,352,825	
		旅行代理店ホテル等	観光誘致・旅客斡旋手数料	1,386,073	
		運輸通信 5 社	通信費	188,657	
		他 87 社	消耗品、水族、飼料、保守修繕等	15,454,972	
		社会保険事務所	各種社会保険料	2,688,594	
		各税務機関	決算時各種税	9,774,200	
		当公社従業員	3 月分報酬、職員手当等	13,121,097	
		鹿児島市	水族館運営委託費精算金	27,324,209	
		預り金	社会保険料	3,362,479	
			所得税と住民税	1,145,958	
		流動負債合計			
	(固定負債)	退職給付引当金	職員分	公社員29名に対する退職金の支払いに備えたもの	119,196,998
固定負債合計				119,196,998	
負債合計				252,829,015	
正味財産				196,435,432	

監 査 報 告 書

平成 28 年 6 月 1 日

公益財団法人鹿児島市水族館公社

理事長 森 博幸 殿

公益財団法人鹿児島市水族館公社

監 事 高橋 雷太 

監 事 北山 一郎 

私たち監事は、公益財団法人鹿児島市水族館公社の平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの第 4 期事業年度における会計及び業務の監査を行い、その方法の概要及び結果について次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等から業務の報告を聴取し、必要に応じて説明を求めるとともに、重要な関係書類の閲覧を実施し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。
- (2) 会計帳簿又はこれに関連する資料の閲覧、調査を実施し、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、当財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 計算書類及び附属明細書並びに財産目録は、当財団の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以 上